

令和4年度「アートサイエンス・情報」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	美術科	情報	アートサイエンスⅠ	1 / 2	必修
教科書	『最新 情報Ⅰ』実教出版				
副教材					

学習の目的

- | | |
|---|--|
| 1 | 効果的なコミュニケーションの実現, コンピュータやデータの活用について理解し技能を習得する。 |
| 2 | 問題の発見・解決に向けて情報と 情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につける。 |
| 3 | 情報社会に主体的に参画する態度を身につける。 |

学習の目標

I 知識・技能	基本的用語やパソコンの基本的な使い方を身につける。	4
C 思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために, 情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて, 思考を深め, 適切に判断し表現している。	3
E 学びに向かう力・人間性等	情報や情報社会に関心を持ち, 身のまわりの問題を解決するために, 自ら進んで情報及び情報技術を活用し, 社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	3

つきたい力	情報技術を適切に扱うことによって、自らの課題を解決に導くことができる力。
-------	--------------------------------------

評価方法

	I	C	E
◇ 定期考査の中でIフェーズ、Cフェーズを問う問題を出題し、それぞれ成績に含める。	○	○	
◇ 提出物は提出状況と提出物の内容に関して評価し成績に含める。	○	○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ 授業は基本的に教室にてChromebookを使用して行うが、状況によってパソコン室を利用する場合もあるので使用する場合は連絡を行う。
- ◇ パソコンの操作等で不明な部分があるときは質問をすること。
- ◇ 授業中は討議する時間と聞く時間のメリハリをつけること。
- ◇ 授業の反省は真摯に取り組むこと。
- ◇ 最終評価は探究領域と合算して算出。探究領域のシラバスは別途記載。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	コンピュータの活用 オリエンテーション	コンピュータの基本的な操作を確認 アプリケーションの利用	アプリ		○	○	○
	5	第1章 情報社会と私たち 第1節 情報社会	情報モラルや個人情報の取り扱い、著作権について理解することができる。 情報デザインの種類や基本的な考え方について理解することができる。また、情報デザインと芸術の違いについて理解でき、情報デザインを実践できる。			○	○	○
	6	第1章 情報社会と私たち 第2節 情報社会の法規と権利	著作権についての理解ができる	期末考査		○	○	○
	7	第1章 情報社会と私たち 第3節 情報技術が築く新しい社会	著作権についての理解ができる			○	○	○
第2学期	9	第2章 メディアとデザイン 第1節 メディアとコミュニケーション	自らが収集したデータをこれまでの学習を元に分析することができる			○	○	○
	10	第2章 メディアとデザイン 第2節 情報デザイン	得られた結果を発表することができる。			○	○	○
	11	第2章 メディアとデザイン 第2節 情報デザイン	情報デザインの種類や基本的な考え方について理解	期末考査		○	○	○
	12	第2章 メディアとデザイン 第3節 情報デザインの実践	情報デザインの種類や基本的な考え方について理解することができる		情報デザインの考え方をを用いて	○	○	○
第3学期	1	第4章 ネットワークとセキュリティ 第1節 情報通信ネットワーク	コンピュータで通信する方式の種類やその違いについて理解することができる。また、情報通信の仕組みについて興味を持ち学習に取り組んでいる。		自分の所有する端末のセキュリ	○	○	○
	2	第4章 ネットワークとセキュリティ 第1節 情報通信ネットワーク	コンピュータで通信する方式の種類やその違いについて理解することができる。また、情報通信の仕組みについて興味を持ち学習に取り組んでいる。	期末考査		○	○	○
	3	第4章 ネットワークとセキュリティ 第2節 情報セキュリティ	情報セキュリティの基本的な考え方について理解できる。また、安全なパスワードの設定やセキュリティ対策を考え実践することができる。			○	○	○

※行事等に変更になる場合があります。